

地域の会 新潟県への質問・意見書

日付 2023年 2月10日 氏名 須田 年美

新潟県原子力防災訓練について

PAZ内住民は即時の避難地域とされ、その時の放射線量は、風速及び風向きによっても異なるとは思いますが、計測が予測できるならばどの位の時間内に避難することがベストなのかなどが示されていたならば、パニックによる混乱を多少なりも避けられるのではないのでしょうか？（質問）

この時間内に児童・生徒の引き渡しは大丈夫か？寝たきりの人や酸素の投与・たんの吸引が必要な人の避難ができるのか？等々避難計画に落とし込んで立て直しが必要ではないかと思えます。（意見）

高校・大学はUPZ区域にあるとは言え、電車通学・バス通学者も多く、災害時に電車・バスは平常通り動くとは思いませんがいかがでしょうか？（質問）

いろいろな場合を想定して、地域住民と避難訓練などの機会を利用して再検討に努められることを望みます。（意見）

避難訓練時は道路状況も良好だが、以前の地震の際は道路が寸断された所も多く、道路上には怪我をした人も見受けられましたが、こんな場合はどうするのか？等々も考慮した避難計画及び訓練も必要と思えます。UPZ内での降雪時はどうするのか？等々も考慮する必要があると思えますがいかがでしょうか？（質問）

原子力災害において避難が容易でない場合は、どうしたらより放射能被曝を回避できるか？などを計画の一つ盛り込んでみてはいかがでしょうか？（意見）